

学力アクションで学ぶ楽しさを追求する

4月18日に6年生の全国学力学習状況調査（全国学力調査）が行われました。

本校は、学ぶ楽しさを追究することにより、子どもたちの意欲が引き出され、自ら学ぼうとする雰囲気が醸成されることを期待して、以下のような取り組みを学校として斉一的に行う計画です。教育課程、経営計画に明示されている内容ですので、全校での共通理解と実践をお願いいたします。

以下は、昨年5月の学校便りに掲載した内容です。

アクション1 「学力調査のB問題を先生たちが取り組む」

先生たち自身が国の調査問題に取り組み、教材研究を行います。

文科省が公開している調査問題を本校のホームページにもリンクさせ保護者へも周知しています。

アクション2 「先生方が、国調査のB問題を独自に制作する」

学んだ知識や身に付けた技能を生かして目の前の課題を解決する能力は、これからの世の中を「生きぬく力」の源です。子供たちの実態に合った問題を、校長も含め先生たち全員で考えることは、本校がめざす「一人一人の発達に照らし合わせた指導」にも結びつきます。ふだんの授業の中で、「子どもたちがポジティブにアクティブに」学ぶ環境を作ることにもつながります。

アクション3 「定期的にクイズ選手権を開催する」

「北西ギネス」は、年間に定期的に実施し運動種目の各成績上位者をランキングすることで、子供たちに体力向上の意欲が喚起されることをめざします。その学力バージョンです。先生方が作成した自作問題に取り組む「クイズ選手権」を通して、「勉強で褒められたい。勉強するって楽しい」という「楽しい学力向上」の雰囲気が培われたらと考えています。年2回の開催をめざします。

アクション4 「算数の教師用指導書に国のB問題の解説資料を貼る」

「アクション2」と似た考え方です。先生たちが、先生の使う指導書に貼られている解説資料をもとに、教材開発や問題解決的な指導の工夫をすることで「解く楽しさ」が通常の授業にもさらに展開されることが期待されます。

今回の調査は、「国語」「算数」の2教科です。今までは、A、Bの問題に分かれていましたが、各教科で問題はほぼBの趣旨に一括されています。

今後は、問題に取り組むにとどまらず、学力向上委員会を中心に傾向の分析を行い、改善プランに生かしていきたいと考えています。

全員の先生方に問題のコピーを配布します。連休までに取り組んでください。